

(一八三九)

二四 天保十年正月

桐生町の定飛脚荷物取次ぎにつき太田町

藤田屋請負証文〔B〕

差出申一札之事

一定飛脚六斎荷請取次宿之儀、先年「私方江被ニ仰付」、是迄相勤、
添仕合ニ奉レ存候、」尚又、此度渡世向大切ニ可レ致様ニ被レ
仰候、「是又承知仕候、然上者、手違等無レ之様」情々可レ仕候、
尤請取申候金銀・荷物粉失等も」有レ之候節者、弁金者
もうすにおよばず、「何様之儀」出来候共、御店者勿論、宰料衆中江茂、
少茂御苦難相懸ケ申間敷候、依レ之入置」申一札、如レ件

天保十亥年

太田町

藤田屋 伊 八印

親類

新五兵衛印

京屋 弥兵衛様

八兵衛様

忠助様

桐生町